

第10.12図 7吋テーブル型テレビセット(73A型)
Toshiba television receiver (Model 73A)

(1) 17吋テーブル型テレビセット(171B型)

本機は、17吋角型ブラウン管17BP4Aを使用したテーブル型の美しいデザインのセットである。使用真空管は20球で、3段の映像中間周波増幅、2段のリミッター付き音声中間周波増幅、及びAFC、AGC付きの高級テレビセットである。本器はコンソール型と同じ機能を有し、これをコンパクトなキャビネットに収納したものであり、和洋何れの部屋にも向く。大型スクリーンに映し出される映像は、大型特有の立体感を見る人を与える。サロンに、待合室に、店頭に、家庭にまた宣伝用として最適である。(第10.11図)

(2) 14吋テーブル型テレビセット(141B型)

本機は、先に発表の141A型と同じ機能を有し、新意匠のキャビネットに取めたものである。ブラウン管は14吋角型14CP4を使用し、真空管数は20球である。回路は、171B型と同一で、AFC、AGC付きの高級セットで、キャビネットの小型の割に大きな画面を有するスマートなものである。家庭用、又は小さな集会用として最適である。(口絵参照)

(3) 7吋テーブル型テレビセット(73A型)

テレビの珍しい時代は既に過ぎ、これからは、普及の機にそって家庭でテレビが使用される時代である。この目的にそって作られたのが本機で、第10.12図の通り小型軽量で、いわば家庭用の普及型小型テレビセットである。ブラウン管は、7吋電磁型180C-B4を使用し、使用真空管は16球である。本機は小型にも拘らず、大型同様の性能を有し、AGC付きで、家庭用としてのあらゆる条件を具備したものである。

5. ラ ジ オ

(1) 普及型

1. マツダラジオ 516 B 型 5 球スーパー
2. マツダラジオ 518 A 型 5 球スーパー
3. マツダラジオ 519 A 型 5 球スーパー

この級に属するセットは実用本位になっており、音質は原音を忠実に再生する上、音量はダイナミック独特の豊富さを有し、他の同格製品の追従を許さない。なお、レコードプレーヤと併用することにより、簡単に電蓄として使用することも出来る。

この他特長として

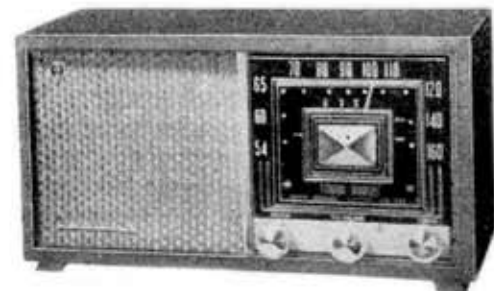
1. 長期の使用に堪える大きな設計
2. 受信操作が至極手軽
3. 消費電力が優秀な設計により、極めて少ない等である。

普及型級の仕様は、概ね次の通りである。

1. 受信周波数帯 535 kc-1605 kc



第10.13図 マツダラジオ(516B型, 5球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 516 B



第10.14図 マツダラジオ(518A型, 5球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 518 A



第10.15図 マツダラジオ(519A型, 5球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 519 A

2. 使用真空管 6W-C5, UZ-6D6
6Z-DH3A, 6Z-P1
KX-12F
3. スピーカ 6.5時パーマネントダイナミック
4. 出力 約1.7ワット
5. 消費電力 30VA
6. 感 度 極微電界級
7. 電蓄切換 レコードプレーヤ併用により、立派な電蓄として使用出来る。
8. そ の 他 外来雑音を極力軽減或は防止するために、特別設計のコイルを使用してある。

(2) 標準型

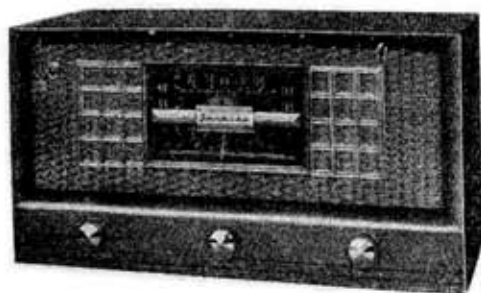
1. マツダラジオ 513G型 5球スーパー
2. マツダラジオ 513H型 5球スーパー

標準型級に属するセットは、音量出力を豊富にし、キャビネット、デザイン等についても高尙な設計となっている。感度、選択度、安定度は同格各社製品中最上位にあり、殊に近頃のように民間放送局の増加に伴ない、電波相入り乱れるに際しては、愈々真価を発揮するものと思う。勿論音量、音質の優れた特長と相俟って、レコードプレーヤと併用されれば、優れた電蓄として使用出来る。

標準型級の仕様は、概ね次の通りである。



第10.16図 マツダラジオ(513G型, 5球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 513 G



第10.17図 マツダラジオ(513H型, 5球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 513 H

1. 受信周波数帯 535 kc~1605 kc
2. 使用真空管 6W-C5, UZ-6D6
6Z-DH3A, UZ-42
KX-8 HK
3. スピーカ 6.5時パーマネントダイナミック
4. 出力 約2ワット
5. 消費電力 45VA
6. 感 度 極微電界級
7. 電蓄との切替 レコードプレーヤ併用により、優れた電蓄として使用出来る。

(3) 高級型 (a)

1. マツダラジオ 615A型 6球スーパー
2. マツダラジオ 612B型 6球スーパー
3. マツダラジオ 613B型 6球スーパー
4. マツダラジオ 6SB-11型 6球スーパー
5. マツダラジオ 6SB-12型 6球スーパー

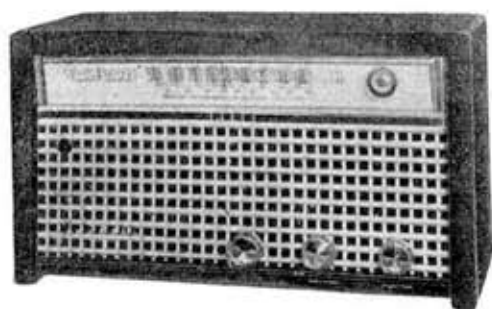
高級型(a)級に属するセットは、安定度を一層よくする為に組立部品の精度を十二分に確保するとか、音量を特に豊富にする等の他、キャビネットの仕上りやデザイン構成を高級セットに相応しい配置を以て製作してあるから、大方の満足を得るものと信じる。

高級型(a)級の仕様は、概ね次の通りである。

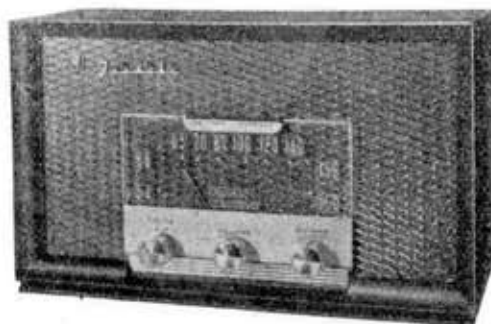
1. 受信周波数帯 535 kc~1605 kc
2. 使用真空管 6W-C5, UZ-6D6
6Z-DH3A, UZ-42
KX-80 HK, 6E5
3. スピーカ 6.5時強磁束型パーマネントダイナミック。但し、612B型と613B型は、6.5時エレクトロダイナミックである。
4. 出力 約2.7ワット
5. 消費電力 50VA
6. 感 度 極微電界級
7. 電蓄切換 レコードプレーヤと併用すれば何れも音質、音量共に優れた電蓄として使用できる。
8. マジックアイ 本機種は、何れもマジックアイが付けてあるから、正確な同調が目で見乍ら簡単にとれる。

(4) 高級型 (b)

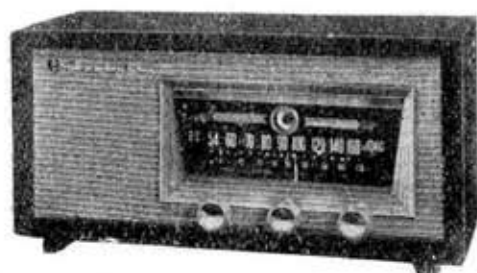
1. マツダラジオ 517A型 5球スーパー
 2. マツダラジオ 7XA-20型 7球スーパー
- 高級型(b)級に属するセットは、目先の変った機種である。真空管は何れもマツダが誇る新鋭ミニオチュフ



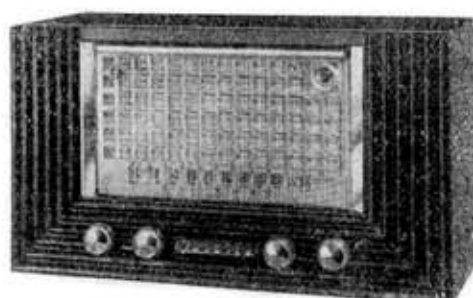
第10.18図 マツダラジオ (615 A 型,
6 球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 615 A



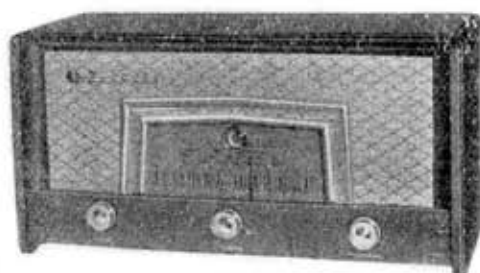
第10.22図 マツダラジオ (517 A 型,
5 球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 517 A



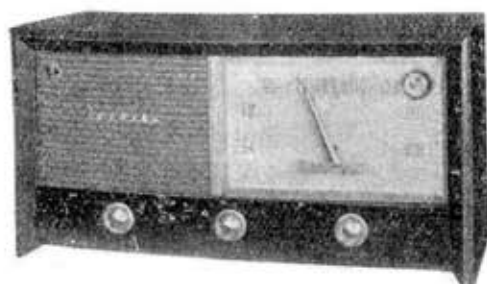
第10.19図 マツダラジオ (612 B 型,
6 球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 612 B



第10.23図 マツダラジオ (7 XA-20 型,
7 球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 7 XA-20



第10.20図 マツダラジオ (613 B 型,
6 球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 613 B



第10.21図 マツダラジオ (6 SE-12 型,
6 球スーパー)
Matsuda radio receiver, type 6 SE-12

をぐっとよくし、キャビネット、デザイン共正に高級型として相応しいものである。その他劃期的特長として

1. μ 同調機構の採用

優れた研究陣を擁し、近代的に整備された工場を有する当社に於て、始めてよくなし得る処と自負するものである。517 A 型に採用した。

2. 遠近感度調節器

7 XA-20 型に採用した。本機は高周波増幅付であるから、感度の悪い地域には是非これを薦めたい。なお感度調節器により、遠、近とも自由自在に音質よく受信出来る。

高級型 (b) 級の仕様概要は、次の通りである。

- | | |
|-----------|--|
| 1. 受信周波数帯 | 535 kC~1,605 kC |
| 2. 使用真空管 | 6 BD 6, 6 BE 6, 6 BD 6
6 AV 6, 6 AR 5, 5 MK 9
6 E 5。 |

但し 517 A 型は、6 BD 6 と 6 E 5 が各 1 本宛少くなっている。

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 3. スピーカ | 517 A 型は、8 吋強力パーマネントダイナミック。 |
|---------|-----------------------------|

管を使用し、精度の高い部品と相俟って本機種種の感度を非常に高めている。スピーカは大型を使って音質、音量

- 7XA-20型は、7吋強力パーマ
ネットダイナミック
- 4. 出力 約2.5ワット
- 5. 消費電力 517A型は: 50VA
7XA-20型は: 60VA
- 6. 感度 極微電界級
- 7. 電蓄との切換 大型スピーカ使用により、レコ

ードプレーヤと併用されれば電蓄として、十分の機能を発揮する。

- 8. マジックアイ 7XA-20型は、マジックアイ付である故、正確な受信には大変便利である。

〔XI〕計測器、試験装置

53.08
620.1
621.317.7

1. 光学測定

(1) 東芝照度計7号型

従来の照度計6号型は、単一光源の法線入射による照度測定は直読であるが斜めから光電池面に入射する場合は誤差が大きく、正しい測光は不可能に近かった。7号型では乳白色の角度光補正グループをもっており、



第11.1図 東芝照度計7号型
Toshiba illuminometer, type 7

視感度型フィルタを使用して5,000ルクスまで、フィルタなしで500ルクスまで測れるし、指示計器部分を水平のまま受光面を約300度自由に回転し得る構造となっている。外観は優美な流線型で、寸法は122mm×63mm×55mm、重量は革サック共720gの小型で携帯に便利である。(第11.1図)

(2) 光電色沢計

物体の表面色と光沢とを正確に測定する計器で、色は測色用フィルタにより赤、緑及び青の3成分に分ち、それぞれの成分の反射率によって測色される。光沢は(45°、-45°)の鏡面反射により測定される。なお視感度用フィルタにより視感反射率(明るさ)が測定される。

従来の製品CG-6-A型の光源は6V用であったが、電球の寿命を永くするためと光度を増すために、CG-24-A型では24V用に改良した。従って直流電源は12

VAh以上の蓄電池を3個必要とする。

(3) 閃光放電装置

アルミの箔や細線を入れた閃光電球は、1回の閃光で取換えたが、クリプトンガスを封入した閃光放電管を使った閃光放電装置は、1個の閃光放電管で1,000~10,000回の使用ができる。運動体の瞬時撮影、破壊現象の撮影に適する。このものは、使用カメラのそれぞれの接点(X, F, M)に同期調整ができ、必要に応じて閃光光量も調節できる。(第11.2図及び口絵)



第11.2図 閃光放電装置
Photoflash discharge tube equipment

(4) 熔接用遮光ガラス

ガス、電気熔接切断の際に発生する紫外線および赤外線は、眼に対して有害な作用を及ぼすことが知られている。この有害光線から眼を保護することは労働衛生の見地から重要な問題である。従来遮光ガラスについては製造基準も性能基準もなかったが、今般JIS B 9902(1952)が制定された。特に有害光線の遮断能力および透過光の色性が厳重に規定されている。当社ではこのJISに適合するはもちろん、その色性においても、極めて優秀なものの製作に成功した。

なお遮光度番号ならびに放射線許容透過率は、次表の通りである。